水辺・絆プロジェクト2023

事 業 実 施 報 告 書

事業名	次世代につなぐ宮城の水辺の在り方	実施場所	宮城県石巻市～名取市
申請者	特定非営利活動法人ひたかみ水の里	関連河川名	北上川水系旧北上川／北上運河／東名運河／貞山運河

1. 目　的

・本事業は、東日本大震災による被害を受けた石巻市の子ども達や大人を対象に身近にある水辺の楽しさや怖さ、歴史を体験や河川施設の見学をして知ってもらうものである。
これにより、地元に流れている河川の魅力を知ってもらうきっかけをつくり、大人になってから地域貢献や活性化を担う人を増やす効果を期待をするものである。
・子ども達の夏休みを含む8月～10月に北上川、11月にみやぎの運河群の見学を実施。また、石巻の国の重要文化財「石井閘門」周辺にてみずベマルシェを実施。

2. 実施体制（結果報告）

・主体団体：特定非営利活動法人ひたかみ水の里
・協力
国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所、宮城県、石巻市
貞山運河ネット、石巻観光協会、角張工務店

3. 実施内容（開催日時・場所 など）

1. 北上川見学(8月18日、9月23日、10月28～29日)
2. みやぎの運河群見学(11月3日、11月12日)
3. みずベマルシェ(12月3日)

・場所：1. みやぎ東日本大震災津波伝承館、石巻市震災遺構　門脇小学校
　　2. 仙台国際空港、名取市ゆりあげ港朝市、かわまちてらす閖上、
　　名取市震災復興伝承館、アクアイグニス仙台
　　3. 石井閘門

・内容：1. 東日本大震災で被災した施設や堤防の見学、船外機での河川見学
　　を実施。
　　2. 運河沿川にある施設の見学
　　3. カヌー体験、キッチンカー、フリーマーケット

参加対象：　一般（子ども～大人）

参加者数：　約70人

5. 創意工夫した点・配慮した点・苦労した点　など

・参加者が集まれるようにチラシを周辺の学校に配布したり、記者クラブへの投げ込みやフリーペーパーへの掲載をした。
・見学先に事前に連絡し説明をしてもらう手配をした。
・参加者の子ども達の学校行事等が被らないようにするのが苦労した。
・屋外でのイベントのため悪天候時の延期日や内容変更を考えた。



6. 総評（実施効果や今後期待される効果、今後に向けての反省点・改善点など）

・今回はマルシェや見学の開催時期がほかの行事によって遅れてしまったので来年度は早めに準備やスケジュールを確保していきたい。

・参加者は楽しかったので、また来年もあるなら参加したいと言っていたので来年度も開催していきたい

・今後の予定
　・大川小学校などの震災遺構見学
　・運河ツアー（船と自転車で運河をめぐる）
　・北上川下り

・参加した子ども達やその親御さんが水辺により一層関心が出て、知り合いにも誘いたいと言っていたので徐々に感心する人が増えていくのが期待される。

7. その他感想等（ご自由に記入してください）

・見学参加者の子ども達の感想
　・震災でこんな被害が多くあったのにびっくりした。
　・空港が開港する以前にアメリカ軍が所有していたのを知り意外だった。
　・ゆりあげ港で食べたホタテがおいしかった。
　・津波がきたらすぐに逃げようと思った。
　・門脇小学校があんなに燃えたのというのが思いもしませんでした。
　・アクアイグニスが使えなくなった場所を再利用して買い物や温泉、ランチができる楽しい施設になったのがすごいと思った。
　・船で運河の松並木の側や松島湾を通ったのが気持ちよかった。
　・北上川にたくさんの鳥がいてびっくりした。

水辺から地域を元気に
水辺・絆プロジェクト

事業実施報告書(写真)

次世代につなぐ宮城の水辺の在り方



北上川下り(真野川合流地点)



みやぎ東日本大震災津波伝承館見学



石巻市震災遺構　門脇小学校見学



仙台国際空港見学



ゆりあげ港朝市にて



アクアイグニス仙台見学



名取市震災復興伝承館見学



みずべマルシェ(石井閘門側)

水辺から地域を元気に
水辺・絆プロジェクト